

▼製麺機で生地を細く切る様子にみんな興味津々。



扇風機の風が子どもたちを癒す

市内の小中学校全教室に扇風機を設置

市内の小中学校の教室に壁掛け式扇風機が3台ずつ取り付けられ、夏の暑さが残る2学期から一斉に稼働しました。

以前に比べ猛暑日が増え、風がない日などの室内は30度以上になることさえあり、暑すぎて集中力が途切れる子どもたちも増え、市では学校の環境改善のために今年度導入。夏休み中を利用し、10校の普通教室85室に251台が完備されました。

8月7日、北部小学校の登校日は、教室に入った児童らは感激。運ばれてくる涼しい風に、「室内が少しでも涼しくなって勉強できてうれしい」と喜んでいました。



▲涼くなった教室でさっそく学習に励む6年生のみなさん

作るのに一苦労。でもお味は格別！

給食センター1日体験

8月18日に給食センター1日体験「夏休みクッキングスクール」が開かれ、市内の小学4年生が佐賀県産小麦を使った、手打ちうどんづくりに挑戦しました。

今年は給食センターが改修工事のため、南多久公民館を会場に開かれ、約30人の子どもたちが参加。給食センターの職員から指導を受けながら、子どもたちは慣れない手つきで一生懸命うどん生地をこねたり踏んだり、麺棒で伸ばしたりと、初めてのうどんづくりに悪戦苦闘していましたが、できあがったお手製うどんの味に満面の笑み。招かれた校長先生方も「とてもおいしいですよ」と賛辞を送られ、子どもたちは「とても楽しかった。家でもまた作ってみたい」と語っていました。

南溪分校で

「佐賀のがばい
ばあちゃん」上映

南溪いきいき協議会が主体となって『島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん』の屋外上映会が、南溪分校グラウンドでありました。地元をはじめ、お盆に里帰りした人など約150人が集まり、ふるさとの姿をスクリーンで堪能。地元の風景やエキストラで出演した人たちが映し出されると拍手や歓声が起こり、帰省した人は、「懐かしい分校で見る映画に感動しました」と。途中からはあいにくの雨となりましたが、活性化の足がかりとなった一日でした。

8/14



新しいALTの

ペニー先生をよろしく！

新任ALT(外国語指導助手)にオーストラリア出身のペネロピー・フォックス先生が8月から着任されました。通称ペニー先生は、7月末で任期満了となったマイラ・チャン先生の後任。小学6年から日本語を学び、中学3年の時には倉敷市に留学するなど数回、来日経験があり、行動的で明るい性格。「日本が大好きで、趣味は写真を撮ることと料理。市民の一人として、多久市に馴染みながら小中学生に会話のできる英語を教えたい」と上手な日本語で話されました。

8/1

